

「戦争法を廃止する」2000万人署名をたくさん集めよう！

平診九条の会

かべしんぶん

2015年12月号
(通算25号)
発行：平診9条の会

アベ政治と許さない

毎月19日には張り
出しましょう！

「戦争法を廃止する連合政府」

どうすればできる？私はこう考える！

二月一七日、平診九条の会運営委員会で意見を出し合いました。

はじめに、栗原事務長より共産党が提案した「戦争法を廃止する国民連合政府」の呼びかけについて説明しました。(中央はその要約です) 以下、参加者の発言の要旨を掲載します。

●戦争法を廃止する連合政府をつくることは大事だし賛成だ。しかし、野党の選挙協力は本当にできるだろうか？経済政策などの違いも大きいので、上手くいくだろうか、よくわからない。

●「連合政府」は立憲主義、つまり「憲法は法律や政府をしるもの」に戻すということだ。多くの憲法学者、青年やママや国民は、内閣や法律を憲法の上に置く安倍の独裁政治に怒っている。法治国家としての最低線を守ろうというものだと思う。

●戦争法を廃止するために頑張らなくてはならないが、「戦争に関わるのは自衛隊だけじゃん」という人も多いと思う。

●新婚旅行に行くにも、安全な場所があるのかと迷っています。

自衛隊がアメリカと戦争に参加すると、日本人は安心して海外に旅行もできない。「連合政府」が本当にできるのか、まだ展望は見えていない。

●確かに、来年夏の参議院選挙で自民・公明が減っても「連合政府」はできない。参議院で政府が思うように法案を通すことができない状態をつくり、衆議院が解散され総選挙で野党が自民・公明より多数にならない限り「連合政府」はできない。二千万署名で決着

憲法違反の戦争法を廃止するためには、衆議院と参議院の選挙で、廃止に賛成する政治勢力が多数を占め、国会で廃止の議決を行うことが不可欠です。同時に、昨年7月1日の安倍政権による集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回することが必要です。

この2つの仕事を確実にやりとげるためには、安倍自公政権を退陣に追い込み、これらの課題を実行する政府をつくることがどうしても必要です。

・「戦争法廃止、立憲主義を取り戻す、——この一点で一致するすべての政党・団体・個人が共同して、「戦争法(安保法制)廃止の国民連合政府」を樹立しよう！

名で決着がつくものでなく、息の長い運動が必要だ。●共産党がいち早く連合政府を呼びかけたのは立派だが、選挙で野党協力が本当に上手くいくだろうか？ISが日本を標的にすれば、安倍首相は「だから自衛隊が・・・」という世論形成をするでしょう。マスコミの戦争法反対の運動の報道は減っていると思う。

●今の野党同士が配慮しあわないと連合政府は、上手く行かないでしょう。これまでも複数の政党で連合政府を作っているが上手くいっていません。

●政治のことにあまり興味がなかったのですが、連合政府はインパクトのある提案です。憲法を大切にすること、立憲主義に立ち返るといえるのは説得力がある。私たちが行動し、世の中がわるといいのですが・・・

●連合政府をつくるのは大変な仕事だ。経済政策は各党とも違う中でぶれない運動が必要だと思う。シールズの運動もいつまで続くのか、期待しているが不安もある。でも、若い人の力が大切だ。

●上手くいくから頑張る、上手くいかないから頑張らないというのではなく、戦争法を廃止する政府をつくる情熱を持っていかないとダメだと思う。平和運動というのは続けていかないとダメだ。

●憲法九条をどう読んでも「戦争法」が許されるわけがない。立憲主義がないがしろにされれば、戦後七〇年の日本の国が変わってしまう。安倍政治をやめさせるのは簡単ではない。息の長い大仕事だ。その最初が二千万署名だ。力をあわせて頑張ってください！

シールズ東海が名古屋駅前で宣伝

11月14日 3500名集まる



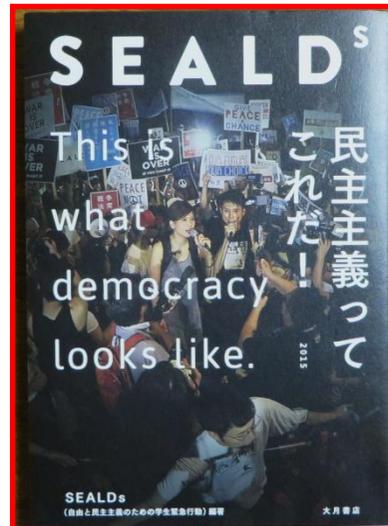
シールズ東海から2人がスピーチ。名古屋市の大学1年生(18)が「他国の戦争に首を突っ込んで、積極的平和なんて言葉の使い方が間違っています。野党にお願いしたいです。どうか無謀な日本の航海を止めてください。そのために野党が垣根を越えて協力してください」と訴えると、「そうだう」と力強い声援が飛びます。岡歩美さん(24)は「1週間前、初めて辺野古に行きました。沖縄県民は“オール沖縄”で結果を出してくださいました。今度は本土が結果を出し、現政権を退陣に追い込みましょう」と思いの丈をぶつけました。

「野党は共闘」の声がかかる中、共産党、民主党、維新の党、社民党の野党4党代表があいさつし、がっちり手を握って掲げると「野党は共闘、野党はがんばれ！」と大声援に包まれました。

「平診9条の会文庫」充実しました

10月以降、3名の方から15冊の本を提供していただきました。追加された書籍は以下の通りです。寄贈していただきありがとうございました。

漫画 この世界の片隅に (前編・後編)	双葉社
山刀で切り裂かれて	
生かされて	PHP
慰安婦たちの太平洋戦争	光人社
津南の戦争体験記 語りつくせねども	
体験記 女たちの戦争	
戦争体験 庶民が支えたあの戦争は...	
偽満(ウイエマン)で知った七三一部隊の仕業	
戦鬼 日中戦争最前線	叢文社
もうひとつの満州	文藝春秋
チャーズ 出口なき大地 1948年満州の夜と霧	読売新聞社
樺太一九四五年夏 一樺太終戦記録一	講談社
「南京大虐殺」のまぼろし	文藝春秋
満州開拓段 27万人 死の逃避行	富士書苑
SEAKDs 民主主義ってこれだ!	大月書店



↑戦争法案を阻止するために立ち上がった若者たち=SEALDs。メンバー自身がその歩みをふり返り、来るべき民主主義への思いを託す。

文庫の本は自由にお持ち帰り、お読みになってよろしいです。必ず返却して下さい。



ホワイトハウス前で「辺野古新基地ノー」11月20日「島ぐるみ会議」訪米団が宣伝(赤旗)

九条の会

第二章 戦争の放棄
第九条
①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

パリ同時テロ 11/13

フランス・パリで、ISによる同時テロで129人が死亡しました。テロはいかなる理由があるうと絶対に許されない卑劣な行為です。これに対して、フランス、アメリカ、ロシアはISへの空爆を激化させています。暴力に対しては暴力のエスカレートで解決はしないでしょう。



11月20日、パリのバタ克蘭劇場近くで花を手向ける市民ら (共同)

空爆ではテロは根絶できない!